

令和4年度 北海道帯広農業高等学校 学校評価

学校評価の実施にあたり

評価アンケートについて 自己評価（教職員 39）
 学校関係者評価（保護者 208）、関係機関 5）
 各評価項目に対して4段階で評価しています。（ ）内の数字は昨年度参考
 5.0 十分である 4.0 概ね十分である 3.0 やや不十分である
 2.0 改善を要する
 第3者評価について A：適切である B：ほぼ適切である C：やや不適切である D：不適切である

めざす生徒像

「礼儀正しく、きまりを守り、思いやりのある心豊かな人間性と社会の変化に主体的に対応できる人材」

めざす学校像

「先見性・創造性・チャレンジ精神を育み、社会の発展に貢献できる人材を育成し、地域に信頼される学校」

1 教育目標

- 1 広い教養と公正な判断力、グローバルな視野を持った生徒を育成する
- 2 農業の社会的役割を理解し、生産・加工・流通・販売の成就感を体得させる
- 3 地域産業の発展に必要な知識と創造力を培い、地域を支える人材を育成する
- 4 郷土と自然に対する愛情と思いやりの心を培い、向上心や自己肯定感を育成する
- 5 健康な心身を持ち、平和で明るい社会をつくる能力を育成する

2 方針

- 1 教育目標の具現化を目指し、学ぶ喜びが溢れる教育活動を展開する学校
- 2 学校力向上を目指して、マネジメントサイクルを積極的に導入する学校
- 3 地域との連携を強化して、産学官連携による専門教育の充実を図る学校
- 4 組織的な体制を構築して、教職員が協働意識を持って学校経営に参画する学校
- 5 働き方改革を意識しながら教育活動を実践できる環境づくりに取り組む学校
- 6 危機管理マニュアルに基づく感染症対策等を行うなどの安全安心な学校

【評価結果】

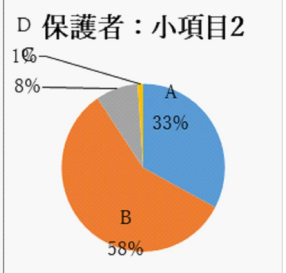
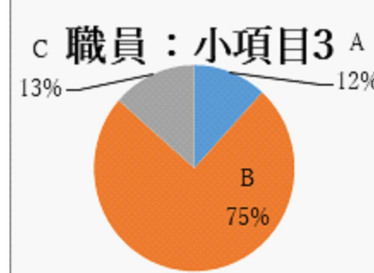
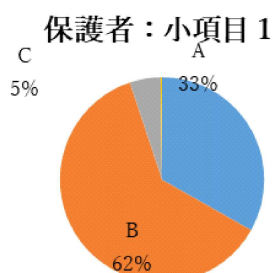
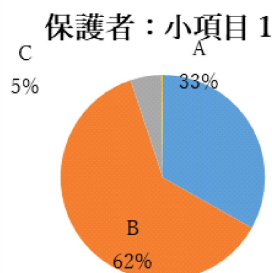
	年度当初目標	設問 NO	評価項目	自己 評価	関係者評価		評 価 平 均
						保護者	
Ⅰ 教育 目 標 と 教 育 課 程	(1)自己目標シートを活用して、経営参画意識の向上を図る。	1	本校の教育目標は本校教育の使命と生徒像を現し、地域の皆様の要望に応えるものになっている。本校の教育目標や教育方針を理解し、実践するよう努めている。	4.0 (4.2) (4.2) (4.3)	5.0 (4.8) (4.7) (4.6)	4.3 (4.4) (4.5) (4.5)	4.4 (4.5) (4.5) (4.5)
	(2)教師の能力と「やる気」を引き出す組織（チーム）作りを行う。	3	HPやPTAだより等、学校情報の迅速な発信やPTA公開講座、学校農場の開放などを通して「地域に開かれた学校」「信頼される学校づくり」に取り組み、その成果が現れ地域に理解される学校となっている。（本校は学校の教育方針や教育活動などについて、地域の皆様に説明していますか。また、地域の声に耳を傾け、地域に信頼され、活力ある学校づくりに努めていますか。）	4.0 (4.2) (4.2) (4.3)	5.0 (4.7) (4.8) (4.5)	4.1 (4.4) (4.4) (4.4)	
	(3)「新学習指導要領」の主旨に基づき、生徒の実態把握による観点別評価の活用と授業改善の検証を行う。	記 述 意 見 等	【教職員】・ホームページの更新を早くした方が良い。情報の鮮度が無くなるため。 【保護者】・子どもが寮や下宿に入っている場合、学校からのプリント等は親の目に届く事は難しい。学校ホームページや登録しているメール等に添付できたら良いと思う。 ・一部の教師 一部の生徒はなっていると思うが学校全体が信頼されるにはまだまだだと思う。 ・勉強も、大事ですが、農業高校でしか、体験出来ない実習を、もう少しあると、嬉しいですね				
	(4)学校評議員会を活用した地域の理解と参画を得た学校づくり、危機管理能力の向上を図る。						
	(5)各学科・教科で言語能力を育成し、考える力やコミュニケーション能力の向上を図る。						

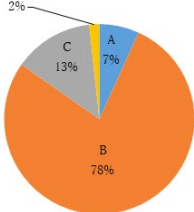
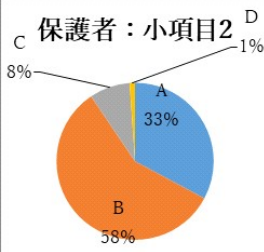
【改善方策】

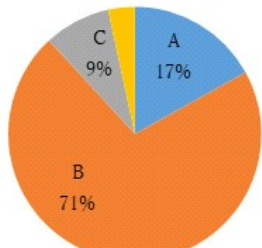
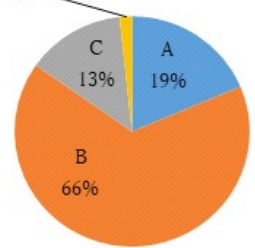
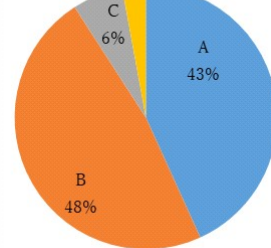
・生徒や保護者の願い、地域の期待に応え、情報発信の充実から信頼される学校づくりに取り組む。

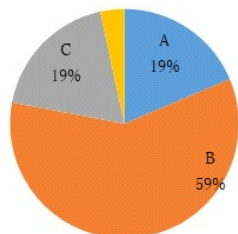
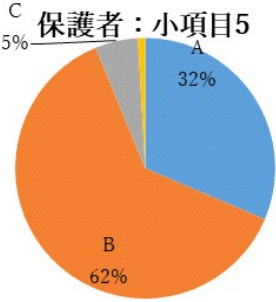
【関係グラフ】

※保護者グラフには関係者データを含む。（以下同様）



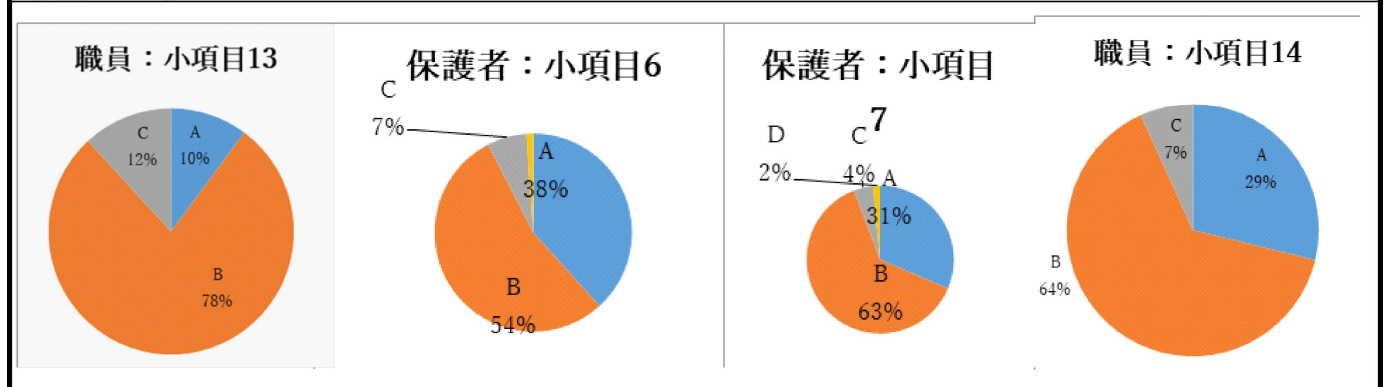
	年度当初目標	設問 No	評価 項目	自己 評価	関係者評価		評 価 平 均
					保護者		
Ⅱ 学 習 指 導 専 門 教 育 教 育 索 指 導	(1)各種学校、畜産大学との連携学習の推進を図る。 (2)教科の枠を超えて、道徳教育や特別活動を展開し、意図的で計画的な教育の充実に努める。 (3)各学科、教科で言語能力を育成し、考える力やコミュニケーション能力の向上を図る。 (4)農業クラブ活動を通したリーダーの育成とクラブ員の意識高揚に努め、各種大会で上位入賞を果たす。	1	学力向上推進事業など研究指定事業を通じて基礎基本の定着・学力の向上及び農業専門学習の充実のため、指導方法の工夫や関連機関と連携した授業の展開を図ると共に、観点別など適正な授業評価等による授業改善やシラバスの活用等に取り組んでおり、その成果が現れている。（本校は生徒一人ひとりに対しわかる授業を行い、生徒の学力を伸ばしていますか。）	3.9 (4.0) (3.9) (3.9)	5.0 (5.0) (4.3) (4.8)	4.1 (4.2) (4.2) (4.2)	4.3 (4.2) (4.2) (4.3)
		2	大学・関係機関とのパートナーシップ事業、小中学校との連携事業（参加授業等）、地域や産業界との連携により専門教育の高度化や定着を図っており、その成果が生徒の姿に現れている。	4.0 (4.1) (4.4) (4.4)	- - - -	- - - -	
		記述 意見	【教職員】・評価のあり方や学力向上などにおいては、現在求められている内容の理解と実践は大きく立ち遅れていると思います。様々な学習上の課題や低学力の生徒に対しての取り組みは合理的配慮の理解を深め、研究しなければならないと考えます。 【保護者】・今まで農業にそれほど関心がなかったが、今では学校から聞いた事、習った事を教えてくれる。 ・授業をきちんと聞いていなかったり、寝ていたりしているようなので、もう少し注意して頂けるとありがたいです。 ・からない子には、もう少しゆっくりわかりやすい説明をお願いします。				
【関係グラフ】							
D 職員：小項目4 				C 保護者：小項目2 			
【改善方策】							
- 生徒の学力や学習状況を的確に把握し、課題を明確化することにより、基礎基本の定着と学習習慣の確立を図る。 - 生徒に身に付けさせるべき学力を確実に保証するため、計画的に授業時数の確保に努める。 - 教科横断的な視点に立ち、生徒の基礎学力の向上を図る。 - 自らの研修により、不断の授業改善を図り、教師力向上を図る。							

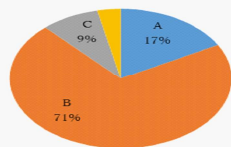
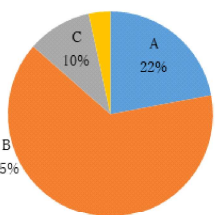
	年度当初目標	設問 No	評価項目	自己 評価	関係者評価		評 価 平 均	
						保護者		
Ⅲ 生徒指導	(1)集会やホームルーム等での指導を充実させ、学校秩序を確立し、安全安心な学校づくりを推進する。 (2)自主的な生徒会・学級活動や部活動を推進し、リーダーの育成と所属感、責任感、達成感を自覚できる指導。 (3)保護者と連携し、情報の共有と教育相談の充実を図る。	1	服装・頭髪・挨拶等の基本的生活習慣の確立やいじめ根絶の取組、薬物乱用防止、携帯電話使用のマナーの徹底等、規範意識の向上や社会マナーの醸成に取り組んでおり、その成果が現れている。(本校はあいさつや礼儀を含め生徒の基本的生活習慣(ルールやマナーなど)が身についていますか。)	4.0 (4.2) (4.3) (4.2)	5.0 (4.8) (4.7) (4.9)	4.3 (4.4) (4.5) (4.5)	4.4 (4.5) (4.5) (4.5)	
		記述意見等	【教職員】 ・服装や頭髪マナーについて、十分生徒に理解させた上で、規定を守らせる指導に変えていくべきである。 【保護者】 ・基本的なことが厳しいからこそ、農高生の態度等が褒められることがあるかと思いますが今の時代にそった校則を検討してほしいです。 ・頭髪検査は厳しすぎだと思います。 ・礼儀、挨拶等はとても素晴らしい。しかし、頭髪等は時代に合っていないものがある。よい伝統は引き継ぎ、改善すべきものは時代に合わせ臨機応変に変更、改変していくべきである。					
		【改善方策】 ・外部の講師等を招聘した校内研修会を実施することにより、教職員の資質の向上を図る。 ・アセスの積極的な活用により生徒理解を深化させるとともに、それを踏まえ、きめ細かな生徒指導の充実を図る。 ・校則の早期に改善・変更を行う。						
【関係グラフ】								
職員：小項目8  職員：小項目9  保護者：小項目4 								

	年度当初目標	設問 No	評価項目	自己 評価	関係者評価		評 価 平 均	
						保護者		
Ⅳ キ ャ リ ア 指 導	(1)社会の変化に対応できる人材育成に向け、専門学科と連携したキャリア教育の充実と支援に努める。 (2)各学年に応じた各種講習会への参加推進と保護者懇談、進路相談会を充実させ進路実現に努める。 (3)インターンシップの推進体制で、学科や分掌間の連携を図る。	1	1年生からの個別進路指導の展開や地域・産業界と連携した専門教育及びインターンシップの実施等を通して生き方・在り方等、進路意識を高めると共に、社会性や勤労観・就労観等の醸成に努めており、社会に通用する人材づくりとして、その成果が現れている。(本校は農業高校の特性を生かしながら生徒の適性や希望に応じた十分な進路指導を行っていますか。)	3.9 (3.9) (4.2) (4.3)	5.0 (4.8) (4.5) (4.8)	4.2 (4.3) (4.5) (4.5)	4.4 (4.3) (4.4) (4.5)	
		記述 意見	【教職員】・職業観の育成は概ね達成出来ていると感じる。一方で、進路実現の可能性と選択肢を広げる為の知性や教養、文章を書く際や面接時の基礎言語能力はとても低く感じる。 【保護者】・本人は上の学校へ行きたがってるが、どこにしたらいいのかわからず。親もわからないので、積極的に進路指導をお願いしたい。オープンキャンパスも薦めて欲しい。					
		【改善方策】 ・キャリア教育の実施については、事前・事後の指導の充実を図る。						
		【関係グラフ】						
職員：小項目10  保護者：小項目5  ・キャリア教育全体計画を作成し、組織的・系統的なキャリア教育の実現とキャリアパスポートの活用を目指す。 ・家庭向け啓発資料（たより、リーフ）を配布し、本人・保護者への周知と理解を促す。								

	年度当初目標	設問 No	評価項目	自己 評価	関係者評価		評 価 平 均	
						保護者		
Ⅴ 特 別 活 動 ・ 健 康 ・ 安 全 指 導	(1)自他共に健康と環境管理に努め、生命の尊重や健康教育を推進する。 (2)公共のものを大切にする心の涵養と環境教育を推進する。 (3)各機関と連携を図りながら支援相談活動を推進し、健全で充実した学校生活を定着させる。	1	特別活動・部活動・生徒会・農業クラブ活動等への積極的な取組を通して生徒とともに意欲的に活動するよう努めるとともに、何事も主体的に取り組む姿勢の人間力を育てており、その成果が現れている。	4.0 (4.2) (4.3) (4.2)	5.0 (4.5) (5.0) (5.0)	4.3 (4.4) (4.5) (4.5)	4.4 (4.3) (4.5) (4.4)	
		2	本校では、事故・災害などへの対応を熟知し、生徒の安全確保・事故の未然防止に努め、日頃から危機回避の行動を心がけている。	4.2 (4.1) (4.0) (3.8)	- -	4.2 (4.5) (4.4)		
		記 述 意 見 等	【教職員】・青雲寮の設備の老朽化が目立つ。改善が必要である。 【保護者】・何かあった時の為に自転車小屋に1つでも良いので防犯予防の為に防犯カメラを設置して頂けたら有難いと思います。 ・コロナ禍の部活動ですが、感染者が増えていた時期に小・中学校は活動自粛でしたが、高校は部活もあるし、大会もある。一部の部活は活動がある。いつコロナを持ち込んで来てもおかしくない状況です。学校独自で全面自粛にしたりするとよいと思いました。					
		【改善方策】・生徒の主体的な生徒会・農業クラブ活動による地域連携を通じて豊かな心の育成を図る。 ・すべての教育活動を通して、いじめ未然防止、早期発見、早期対応、再発防止に努める。 ・危機管理について、不断の見直しを図り、防災訓練等により、災害時の適切な判断と行動が行われるようにする。						

【関係グラフ】



	年度当初目標	設問 No	評価項目	自己 評価	関係者評価 保護者	評価 平均
Ⅵ そ の 他	(1) 地域との繋がりを重んじ、懇談会等各種活動に参加する。	1	全職員がPTA、同窓会など外部団体と積極的に関わり、充実した活動になるよう努力している。	4.1 (3.9)	4.7 (4.3)	4.3 (4.2)
	(2) 研修の促進と効果的な運用で学校職員の資質向上に努める			(3.9)	(4.3)	(4.4)
	(3) 服務規律の徹底に努める。			(4.0)	(4.5)	(4.3)
	(4) 生徒理解に努め本校生徒として必要な資質の向上を図る。	2	全教職員が個人情報の管理や交通事故、セクハラなど、服務規律の保持について常に公務員としての意識をもって業務に当たっている。	3.8 (4.2)	- -	- -
				(4.0)		(4.1)
				(3.6)		
3 現在の帯広農業高校の生徒に必要なもの(こと)は総じて何か、次の中から3つ選んでください。						
	A基礎学力	2.0% (20.9%) (19.9%)	F安全意識	4.6% (2.0%) (5.6%)	K友人	2.1% (1.0%) (1.5%)
	B体力	1.0% (3.1%) (3.1%)	G明るさ	0.0% (2.0%) (0.5%)	Lホラソフイ	0.0% (1.5%) (2.0%)
	C専門技術(知識)	10.8% (10.2%) (11.2%)	H優しさ	4.1% (3.6%) (2.6%)	M国際観	4.6% (5.6%) (6.1%)
	D就職	2.1% (2.6%) (2.6%)	I礼儀	12.3% (10.2%) (3.6%)	N一般常識	11.8% (11.7%) (15.3%)
	E進学	2.6% (2.6%) (2.6%)	J部活動	1.5% (3.1%) (2.6%)	O資格取得	1.5% (1.5%) (3.1%)
					P向上心	10.8% (18.4%) (18.4%)
記 述 意 見 等	【教職員】 - 校内研修や自主的な校外での研修が全校的に不足していると思います。先生方の制度や現在の教育上の課題についての理解や共通認識が不足しないよう、忙しい学校ですが、校内研修会をもっと設定しても良いと思います。 【保護者】 - 寮での生活は、本人にとってとても良い勉強になったと思います。農業についてもかなり興味を示し、勉強したがってます。ぜひ、進路指導をお願いします。 - 三者面談など コロナではありますがやってほしいです。子供の希望する進学はもちろんですし理解していますが、親、担任、生徒含めて話し合う場を早い段階で設けてもらいたいです。 - コロナ対策で、学校祭ができなかったのが残念でした。なのに、感染者が多い時期に野球の全校応援や関西まで応援にとか、学校の方針が理解できませんでした。 - 行事などはなるべく中止にする事なく開催してほしいです。子供達がかわいそうです。 - 風邪症状が出て寮から家に戻っているのに、次の日学校に連絡をいれなくてはならないのでは、寮と学校が別物だと感じてしまいます。朝帰りするのなら寮にいつ戻ると連絡いれる、前の日から体調不良で寮に戻っていないなら、寮から学校につたえるなどもう少し明確、端的にほしいです。 - 学祭をして欲しい。思い出のある高校生活を…。					
【改善方策】			職員：小項目8			
- 教育公務員として服務やモラルについて、内部チェックできる雰囲気作りに努める。 - 職員会議等の後の時間を活用して、研修や研究会参加の報告を行い外部での研修成果を教職員で共有する。 - 教職員が職務に専念できる環境の充実を図る。						
【関係クラフ】			小項目21 アンケート結果			
職員：小項目18						
職員：小項目20			